

なん
ぽる

議会だより



第1回 定例会

- ◆一般会計及び特別会計予算 105億2700万円を可決
- ◆前町長の三好富士夫氏に名誉町民の称号を授与

来季に向けて除雪体制の反省点を確認をするドライバーたち
【南幌町道路維持協同組合にて】

3月 第1回定例会 審議結果

3月定例会は3月8日に開会し、南幌町ゼロカーボンシティ宣言、令和5年度町政執行方針、教育行政執行方針が演説されました。

その後、令和4年度各会計補正予算6議案を審議し、いずれも原案のとおり可決。

また、令和5年度各会計予算案と関連条例など8議案を予算審査特別委員会に審査付託しました。

2日目は6名の議員が一般質問に立ち、執行方針等に対する理事者の考えをいただきました。

本会議は15日に再開し、令和5年度各会計予算案、条例制定、人事案件などを審議し、いずれも原案のとおり可決・採択し閉会しました。

名誉町民の推薦

三好 富士夫さん（12区）



人事案件

○教育長の任命

西田 篤人さん（6区）

令和4年度補正予算

○一般会計補正予算（第9号）

歳入では、町税、普通交付税、企業版ふるさと応援寄附金の追加、並びに事務事業の精査。

歳出では、生活交通確保対策負担金、障がい者自立支援給付事業費、保育施設等給付費の追加、移住体験住宅建築工事費などの減額による。

◆補正額 9390万5千円減額

○国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
歳入では、道支出金、一般会計繰

入金
の追加。

歳出では、保険給付費、基金積立金の追加による。

◆補正額 1757万3千円追加

○病院事業会計補正予算（第3号）

入院及び外来収益、一般会計繰入金、並びに事務事業費の精査による。

◆補正額

・収益的収入 817万5千円追加
・収益的支出 1765万9千円減額
・資本的収入 87万7千円減額
・資本的支出 83万7千円減額

○下水道事業特別会計補正予算（第5号）

歳入では、江別市公共下水道事業起債償還分負担金、下水道使用料、下水道事業債の減額、一般会計繰入金の追加。

歳出では、南幌関連工事負担金、地方債償還額並びに各事業費確定の減額による。

◆補正額 8825万8千円減額

○介護保険特別会計補正予算（第2号）

歳入では、介護保険料の追加、国庫支出金、支払基金交付金、並びに一般会計繰入金の減額。

歳出では、基金積立金の追加、保険給付費、地域支援事業費の減額による。

◆補正額 502万5千円減額

○後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

歳入では、後期高齢者医療保険料、繰越金の追加、一般会計繰入金の減額。

歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金の追加による。

◆補正額 4千円追加

条例制定等

○南幌町国民健康保険条例（改正）
健康保険法施行令の改正による。

○表彰条例（改正）
表彰に係る対象者などの見直しを行うため。

○南幌町情報公開条例（改正）
○南幌町個人情報保護法施行条例制定（制定）

○南幌町情報公開・個人情報保護審査会条例制定（制定）
○南幌町議会個人情報保護条例（制定）
個人情報情報の保護に関する法律の改正による。

○南幌町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例（改正）

人事院規則の改正及び職員の休暇取得期間を変更するため。

○町税条例（改正）
地方税法等の改正による。

○南幌町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例（改正）
○南幌町特定教育・保育施設及び特

定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例(改正)

○南幌町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(改正)

国の運営に関する基準の改正による。

○南幌町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例(制定)

建築基準法の規定に基づき、地区計画区域内の建築物の制限を定めるため。

その他

◆南幌町議会報告懇談会報告

◆南幌町議会評価提言者会議報告

◆南幌町議会まちづくり特別委員会最終報告

意見書

次の意見書を採択し、各省庁等へ送付しました。

○食料安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産経営の安定を求める意見書

農業者が将来にわたって安心して営農できるように、我が国の食料安全保障の強化と国内酪農・畜産の経営安定に向けて要望します。

①食料の安定生産・供給に向け、生産資材の安定的な確保や担い手・労働力の育成・確保、再生産可能な新

たな制度の導入など機動的な施策の拡充や予算の確保により、生産基盤を一層強化し、国内生産の増大を図る食料安全保障政策として強化することなど他1件を要望。

◆提出者 本間 秀正議員

○LGBTQに関する差別を解消し、人権を守る法整備を求める意見書

政府に対し、性的指向や性自認に関する差別的取り扱いを禁止し、人権を守る法整備を行うよう要望。

◆提出者 熊木 恵子議員

○国立病院の機能強化を求める意見書

国立病院を機能強化し、憲法25条に保障された国民の生存権及び国の社会的使命を果たすことを要望。

①国民の命を守るセーフティネットとしての役割を確実に果たし、地域医療の充実を図るため、国立病院を機能強化することなど他1件を要望。

◆提出者 熊木 恵子議員

○新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを5類に移行しても、医療機関や感染者への公的支援が後退しないことを求める意見書

受診抑制によって、後期高齢者の健康状態が悪化するなどが起きないよう国において高齢者に負担増を押し付ける計画を撤回し、医療費窓口

負担の原則1割の継続を求める。

◆提出者 熊木 恵子議員

○带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を求める。

◆提出者 佐藤 妙子議員

臨時会

第1回 1月26日

第1回臨時会は、補正予算1件が提案され、原案のとおり可決しました。

○一般会計補正予算(第8号)

歳入では、出産・子育て応援支援金の給付に係る国庫補助金及び道補助金の追加、ふるさと応援寄附金の追加、財政調整基金繰入金の追加。

歳出では、ふるさと応援寄附事業費の追加、ふるさと応援基金積立金の追加、出産・子育て応援支援金の給付に係る経費の追加、除排雪経費の追加による。

◆補正額 1億2803万4千円追加

第2回 2月22日

第2回臨時会は、財産の取得の変更1件、指定管理者の指定1件が提案され、原案のとおり可決しました。

○契約関係

財産取得の変更

◆取得物件 子ども室内遊戯施設

◆契約金額

変更前 8億1013万9千円

変更後 9億372万7千円

◆契約の相手 大和リース(株)グループ

○指定管理者の指定

◆指定管理を行う施設

子ども室内遊戯施設

◆指定管理者となる団体 大和リース(株)グループ

◆指定の期間 令和5年4月1日から令和15年3月31日



議員 10年間、この施設の指定管理料に変更はないのか。

まちづくり課長

人件費のアップ分や昨今の著しい燃料費・物価高騰の影響で指定管理料の見直しの協議もあり得る。次年度以降、他の指定管理と同様に、実績を考慮した中で年度協定を締結していきたい。

議会報告懇談会を開催！

現議員による最後の「議会報告懇談会」は、2月25日(土)あいくる会議室において町民22名が参加する中、開催されました。

数多くの意見や要望が議会や町に対し寄せられました。過日、まちづくり特別委員会を開催し、その内容を協議後、各常任委員会から担当する課へ意見・要望を伝えました。主な意見要望は、次のとおりです。



議会への意見・要望

①議員定数を削減する考えは、人口の割合に対して多いのでは。

⇒市町村の人口区分に応じ定められ、南幌町の規模では18人までと定められており、現在定数は11人で自治法の範囲内。

②防災無線で臨時議会の内容も放送できないか。

⇒担当課と対応を協議します。

⑤南幌温泉関連

- ・更衣室の清掃をしっかりとしてほしい。
- ・高齢者への入浴無料券を増やせないか。

⑥あいるーとの年間パスポート等はできないか。

⑦通学距離がある低学年児童のスクールバスの利用はできないか。

⑧他市町に設置している資源回収ステーションを南幌にも設置できないか。

町への意見要望

③中央公園入口の交差点に歩道橋を作るべきでは。

④ゼロカーボンシティ実現に向けて農業等における二酸化炭素削減の考えは。



所感～現議員による最後の懇談会ということで、議員が町民に参加を促した結果、22名の方に来ていただきました。参加された方からは、多種多様な意見要望が寄せられています。次回、新体制となる町議会においても議会報告懇談会は開催されていきます。今後も多くの町民の方が参加され、ご意見ご要望を聞かせていただき、町政に反映させていただきます。

賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の賛否を公表します。

議 件 名	結 果	内 田	佐 藤	熊 木	西 股	志 賀 浦	本 間	石 川	加 藤	川 幡	細 川	側 瀨
令和5年 第1回定例会 報告第2号 令和5年度各会計予算及び関連条例の審査 ※子ども室内遊戯施設指定管理料	可 決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—

※掲載されていない議案はすべて全員賛成、議長は採決に加わっていません。

■令和5年 第1回臨時会

補正予算1議案について、議長を除く10名の議員が賛成

■令和5年 第2回臨時会

財産の取得の変更、指定管理者の指定2議案について、議長を除く10名の議員が賛成

道内政務調査

議会まちづくり特別委員会は、道内先進地事例を研究するため、1月23日～24日、檜山管内厚沢部町において政務調査を行いましたので概要を報告します。

厚沢部町について

①町の概要

渡島半島の日本海側、檜山管内に位置し、三方を森林に囲まれ清流厚沢部川をはじめとする河川流域には、水田や丘陵地帯に畑地が拓けた農業を基幹産業とする町です。また、じゃがいもの「メークイン」の発祥地として知られている。人口3500人、世帯数1815世帯で高齢化率は42・9%となっている。



厚沢部町認定こども園「はぜる」

②調査事項

★保育園留学について
★ちよつと暮らし住宅について
↳保育園留学誕生まで

厚沢部町は、早い段階から町が100%出資する「素敵な過疎づくり株式会社」を設立し、移住体験住宅を活用した移住施策等を行い、人口増加に向けて外部からの人を受け入れる取り組みを進めていた。また、子育て支援にも力を注ぎ、山々に囲まれた町の特徴を生かし、大自然の中で子どもがのびのび生活できる認定こども園「はぜる」を平成31年に設立した。「はぜる」は移住者や地域住民が集い多世代交流ができる子育て支援拠点施設としてつくられており、町外の人でも短期間子どもを預けることが可能な「一次預かり制度」を設けた。

↳平成27年4月1日、厚労省による一時預かり事業が実施に

しかし、移住体験住宅の利用は高齢者の方が多く、移住定住に繋がることはなく、若い世代に利用してもらい移住施策につなげることが課題だった。そうしたなか、現在、保育園留学を官民連携で進めている株式会社キッチハイクとイベントを実施したことがきっかけとなり、横



厚沢部町移住体験住宅施設見学

浜市在住の会社代表の方から「はぜる」の写真を見て1歳の娘を「はぜる」に通わせることができないかとの問い合わせのメールが届き、正式な入園は広域な入所の手続きなど事務的に大変なこともあるため、町から「一時預かり制度」の利用を提案した。

その方が厚沢部町に来るや、自ら「保育園留学してます！」と自身のSNSで厚沢部町での滞在の様子をアップしたところ、「楽しそう、新しいワーケーションの形ですね」等々、反響が多数届いた。

結果、「はぜる」の一時預かり制度の活用と、移住体験住宅の利用をパッケージ化し保育園留学とする事業の提案があり、

保育園留学が誕生した。

③所感

昨年の秋、新聞で認定こども園「はぜる」の記事を読んで行ってみたい！と思い車を走らせてみた。紅葉の真っ盛りで厚沢部町までは時間も気にせず走れた。そして「はぜる」を見た瞬間、鳥肌が立った。広い園庭に地味ではあるが洒落た建物。「えっ！これが保育園？」その時の感動は今も残っている。

この度の視察でも感じたことは「町は素敵な過疎！ちよつと暮らし住宅はファッショナブルで美しく田舎暮らしをわくわくさせてくれる」町としての質の高さを感じました。

厚沢部町の進める交流事業の中核は素敵な過疎づくり株式会社が担っている。日頃の事業を通じて様々な組織と繋がり、行政と町民が一体となり、子どもたちを思う心、町を大切に思う心で「はぜる」が誕生し、厚沢部町素敵な過疎のまちづくりの基本条例が下支えとなり、まちづくりがなされていると感じました。

道の駅「あつさぶ」はリニューアルし、一年に一度は行きたい道の駅となりました。ここで食べた「ごぼう飯」は忘れられない味となりそうです。

(内田)

一般質問に6人が登壇

議員本人が要約して掲載しています



石川康弘 議員

Q 道央圏連絡道路開通に向け
交通対策を

A 関係機関と連携して行っていく

石川議員

道央圏連絡道路中樹林道路は、供用開始に向け現在工事が進められています。沿線住民が心配しているのは通行ルート変更による交通事故と渋滞の問題です。特に大型トラックが大量に15線道路を通過することと、とても混み合う可能性があり周辺道路が混雑することが予想されます。そのためには車の流れを妨げることにならないよう、右折レーンの設置が必要だと思えます。さらに信号機の設置も考えるべきではないでしょうか。

長沼南幌道路の開通までには、まだ相当の年数が掛かるので、その間の交通対策が必要であり、今から準備するべきかと思っております。

町長

中樹林道路の開通により本町への交通アクセスが向上し、交通や人の流れが大きく変わり、本町の活性化につながるものと期待する



交通対策については、町民に対して供用開始に向けた情報提供を行うとともに、栗山警察署と連携した交通安全啓発活動や通学路の安全確保を行い、道路管理者である国と協議してまいります。

12号道路は、15線から19線堺橋まで令和5年度から2か年で車道路肩拡幅工事を行い、軟弱地盤対策や道幅を全体で2・5m拡幅をする予定です。

15線道路は設計段階で、南幌ランプ降り口の信号機設置を要望していましたが、北海道開発建設部と道警の協議により、現在の交通量を踏まえると信号機の設置には至らず一時停止交差点となっております。右折レーンの設置は引き続き要請してまいります。

● 南幌町議会まちづくり特別委員会最終報告 ●

議会まちづくり特別委員会は、南幌町の現状と今後のあり方についての総合的な調査研究に関わる事務を目的として、令和元年6月13日に設置され、令和5年4月26日までの任期中45回委員会が開催され、議会基本条例の制定、町民による議会評価提言者制度の導入など、開かれた議会を目標に協議をしてきました。



まちづくり特別委員会のまとめ

議会まちづくり特別委員会では、南幌町が地域力を試される時代にあることを認識し、わが国の人口減少や少子高齢化社会をいかに乗り越えていけるかが課題と捉えているが、幸い南幌町では、子育て世代への住宅建築費助成事業等の施策により人口の減少は止まり、若干ではあるが、人口の前年比では増加傾向がみられている。今後も、地方創生の実現に向けた産官民連携の必要性とその方向性を示し、「住んでよかった」と実感できる町づくりのため、今後においても議会で議論を重ねなければなりません。

町議会は、常に町民との対話を通じ、よりよい町づくりに取り組んでまいります。

Q 行政デジタル化への対応は



西股裕司 議員

A 必要に応じ専門部署の設置等を検討



西股議員

本町のデジタル化の推進について執行方針では、国のDX推進計画を踏まえ、手続きのオンライン化に取り組むとしています。

南幌町においてもマイナンバーカードの普及推進に取り組んでおり、インターネット等による行政情報の提供、町民や企業等と自治体間の手続きの電子化、ワンストップサービスの実現等への取組を具体的なものとしていますが、今後どのように対応していくかと考えているか伺います。

①デジタル化に対応すべく、担当部署の設置の考えは。

町長

①「自治体情報システムの標準化・共通化」に向け、総務課が担当し、システム事業者や各担当課と連携を図りながら作業を進めていることから、現時点で専門部署の設置は考えていません。

西股議員

②DX推進のため、国では外部からの人材登用も視野に入れる旨の案が出されているが、町としての考えは。

町長

②今後においては、庁舎内に検討会議を設置し、行政サービスなど町民の利便性の向上に向け調査・研究を行い、必要に応じてデジタル推進専門部署の設置や外部人材の活用について検討します。

西股議員

③行政手続きを簡素化しようとしているが、現在、デジタル機器を所有しない方、独居高齢者及びパソコン・スマホが操作できない方々への対応はどのように考えているのか。

町長

③デジタル化による利便性向上の啓発を行い、デジタ

ル機器の使用を促すとともに、機器の操作や活用には不安がある高齢者等に対しては、国の地域連携型デジタル活用支援推進事業を活用した、スマホ教室の開催など、不安解消に向けた取り組みを進めていきます。

Follow-up
～追跡調査～

あの質問どうなった!?

～診療体制が確立し
外来患者が増えています～



町立病院は、一般会計繰入率が高く、議会でも改善策について病院と協議してきました。

その中の課題の一つとして、医師の確保を最優先にする旨を訴えたことで、現在3人の常勤医師による診療体制につながっています。病床の機能転換により収益率が向上したことや外来患者数が増えていることで、一般会計からの繰入金も減少しています。

特に3名体制が確立したことにより訪問医療を含め、診療体制が充実し、患者数が増加しています。また、議会では四半期ごとの経営状況を確認しながら、町立病院の運営を注視しています。

今後も町立病院に期待していただきたいと思います。

※DX（デジタル・トランスフォーメーション）デジタル技術で社会や生活の形を変えること。
※ワンストップサービス 複数の場所や担当に分散していた関連する手続きなどを一か所でまとめて提供するようになったもの。

Q 持続可能な行政運営による 信頼づくりとは



熊木恵子 議員

A 協働のまちづくりに取り組みます



令和3年度行政懇談会の様子

熊木議員
執行方針で掲げられている協働によるまちづくりとは具体的にどのようなことをいうのか。「地域担当職員制度」や「職員出前講座」は今までも実施しているが、行政懇談会については今年度開催するのか伺います。

また、今後のまちづくりについて、町民の声を聞くことが重要ではないか。町長が率先して町の未来を語ることでできる場、町民の声に寄り添いまちづくりを語ることでできる場の創設が必要と思うが考えを伺います。

町長
「協働によるまちづくり」は、町民と行政が協力しながら、よりよいまちづくりを実現することを目的に、各種事業を実施しています。「職員出前講座」については講座メニューの見直しを図っています。

行政懇談会は令和5年度実施を予定しています。町民のみならずとの対話の場である「故郷ふれあいミーティング」など様々な機会を通して町民の声を聞き、協働のまちづくりに取り組んでいきます。

Q 住宅リフォーム助成事業の 拡充について

A 補正予算による増額は行わない

熊木議員

良好な住環境を保つことを目的として平成27年度から実施し、助成金交付件数は281件、工事費は総額4億359万円、助成金は6136万円となっております。

町内の登録事業者の事業継続、後継者育成の場としても、町の活性化に大きく貢献しています。

工事費の20%が限度額で助成金上限が30万円となっているが、建設資材の高騰により工事費が引き上げら

れると思うが上限額の引き上げはしないのか。

以前のように補正予算により対応し、一人でも多くの町民の要望に答えるべきではないか。

また、町内の事業者が安心して町内で事業を続けられるよう補助金額の拡充の考えは。

町長

「住宅リフォーム助成事業」「中古住宅購入助成事業」「空き家解体助成事業」の3本の事業を本町の住宅ストックの一体的な取り組みとして実施しています。

住宅リフォーム助成事業については、特別交付税などの財源措置がなくなったことから、当初予算の範囲内で事業を継続しています。

なお、新年度は昨今の建築資材高騰の影響を考慮し、予算を増額計上していることから、補正予算による増額を行う考えはありません。



佐藤妙子 議員

Q 誰もが参加したくなる 健康促進の取り組みを

A 健康増進に取り組みます



佐藤議員

南幌町は現在、健康ポイント事業などの取り組みを行い、成人保健対策を推進し、町民の健康づくりを後押ししています。特に、健康促進へのPRや、継続的に健康づくりに取り組んでもらうことが重要です。

普段、忙しくて自分の体を気遣えない方、健康に関心が薄い方などは、潜在的にリスクが高く、病気の早期発見が遅れがちです。また、一度は検診や健康イベントに参加しても継続して参加することが苦手と感じる方が多くいます。

そのような問題を解決するために、「健康マイレージ制度」を導入する自治体が増えていきます。「健康マイレージ制度」とは、健康イベントに参加したり、健康診断を受けたりすることで、ポイントを受け取り、一定のポイントが溜まると地元商店の割引券や物産品と交換できる制度です。楽しみながら健康増進に取り組むことが可能となり、長期的な医療費の削減と地域活性化の観点から、これまでの健康ポイント事業をさらに拡大したこの「健康マイレージ制度」の導入が必要と考えますが、町長に伺います。

また、誰もが参加しやすい健康促進の取り組みとして、歩くことで健康を考える方が増えてきました。町内ウォーキングマップを制作したり、目標歩数やコース設定するなど、歩きたくなるまちづくりについての考えもあわせて伺います。

町長

本町では、現在、国民健康保険加入者を対象とした「健康ポイント事業」を実施しており、健康づくりへの動機付けを促進し、健康に配慮した生活習慣を身に付けるきっかけづくりになっています。

今後は、対象を成人期以降の全町民への拡充と、対象事業メニューや交換できる特典ポイントの見直しなど、先進事例を参考に「健康マイレージ制度」の導入について検討してまいります。



また、ウォーキングは、幅広い年齢の方が手軽に取り組める運動であり、生活習慣病の予防だけでなく介護予防にも効果的であることから、遊歩道などを活用したコースの設定やマップの作製など、ウォーキングを通じた町民の健康増進に取り組んでまいります。

Q SDGs未来都市選定への応募の考えは



内田恵子 議員

A 現時点での応募は難しいと考えます

内田議員

2030年にSDGsの目標達成の期限を迎えますが、そこから先も地球と共存できるよう行動していかねければなりません。その活動の中心となる子どもたちを行政や地域のパートナーシップで育むことが大切と考えます。

子ども室内遊戯施設「はれっぱ」のオープンも間近となりました。ただ遊ぶだけでなく、未来に伝えたいことなど、町が子どもたちと一緒に考え、進める施設であるべきではないでしょうか。ゼロカーボン宣言、さらに令和6年度より東町において、ゼロカーボンモデル団地の展開は、国や北海道、企業、町がSDGsのゴール17のパートナーシップで目標を達成し



ように当てはまり、連携により新たな情報も得られると確信しています。そこで3点伺います。

①SDGsの活動を推進するため、SDGs未来都市選定事業への応募の考えは。

町長

①現時点では選定基準を満たす状況に至っていないことから「SDGs未来都市」への応募は難しいと考えます。当面は、「地球温暖化対策実行計画」に基づき、ゼロカーボンに向けた取り組みを進めます。

内田議員

②町と子どもたちが一緒にSDGsについて考え学べる場が必要と思うが。

町長

②子ども室内遊戯施設「はれっぱ」において、子どもたちを対象にSDGsをテーマとしたイベントの開催など、学べる場の提供を検討します。

内田議員

③地域住民に迷惑がかからないよう施設周辺の環境、ごみ対策は。

町長

③啓発及び指定管理者との連携促進を図ります。

議会の動き

全員協議会

- 1月26日
 - 町立病院の経営状況について
 - 建築条例、立地適正化計画について
 - 準工業用地整備計画について
 - 中央公園トイレ整備について
 - 南幌温泉改修等について
 - 移住体験住宅について
- 2月22日
 - 町立病院経営強化プランについて
 - 特定都市河川について
 - 第4次南幌町地球温暖化対策実行計画について
 - 子育て世代住宅建築費助成事業について
 - 路線バスの運行について
 - 子ども室内遊戯施設について
 - 第3次行財政改革実行計画について
 - 財政推計について
 - 第5次定員適正化計画について
- 3月24日
 - 新型コロナウイルスワクチン接種予算について
 - マイナンバーカードによる住民票等コンビニ交付サービス導入について

委員会活動

- ◆総務常任委員会
 - 1月26日
 - スマホ教室の開催状況について
 - 3月16日
 - 議会報告懇談会のまとめ
- ◆産業経済常任委員会
 - 1月26日
 - 2月開催の議会報告懇談会について
 - 3月16日
 - 議会報告懇談会のまとめ
- ◆議会運営委員会
 - 2月28日
 - 定例会の運営について
 - 3月3日
 - 議会評価提言者会議
- ◆南幌町議会まちづくり特別委員会
 - 1月26日
 - 議会報告懇談会について
 - 2月2日
 - 議会報告懇談会について
 - 2月13日
 - 南幌町議会個人情報保護条例の制定について
 - 2月13日
 - 議会報告懇談会について
 - 議会まちづくり特別委員会最終報告について
- 3月15日
 - 議会報告懇談会のまとめ
 - オンライン会議について



加藤真悟 議員

Q 地域におけるスポーツ振興と環境整備について

A スポーツを楽しむ環境の充実に努めます



南幌リトルタイガース

加藤議員

現在、南幌町は移住定住の政策が実りはじめ、人口増加という希望の光を灯すことができました。

若年層が増加している現在、学校教育のほかにもスポーツを通じて一人ひとりが健やかに元氣よく育つてもらうために環境づくりを整えることは重要であると考えます。

我が町においてスポーツ少年団や同好会などは、空知管内はもとより全道、全国で活躍する成果を上げており、他市町村に比べても

遜色のない素晴らしい人材がいることは事実でありま

す。この輝いている子どもたちを、さらに後押ししてきような環境を整えることで、町のイメージアップにもつながるのではと考えます。そこで教育長に質問します。

①今後の南幌町のスポーツ指導における人材不足の問題や課題点、展望については。

教育長

①新たな指導者の加入もあり、現時点において、各少年団の指導者の人材不足は無いものと認識していません。

加藤議員

②学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドラインというものがスポーツ庁より示されているが、南幌町としてどのように考えていくのか。

教育長

②北海道の計画案が示された後、文化活動を含め、スポーツ少年団本部やスポーツ協会などの関係者により現状や課題の整理をしながら、生徒が部活動を継続していくために必要な運営体

制や、練習環境などについて協議を行っていきます。

加藤議員

③町内スポーツ施設や用具の更新などを含めた環境整備を行うっていく考えは。

教育長

③教育施設長寿命化計画に基づき令和5年度において、大規模改修工事を予定しているスポーツセンターをはじめ、社会体育施設が安全にスポーツを楽しむことができる環境の整備に努めるとともに、スポーツ用具についても適宜更新を行い、適切な維持管理を行ってまいります。

議会評価提言者会議を開催

令和5年3月3日（金）役場会議室において議会議員全員とこの日集まった議会評価提言者7名との会議が開催され、これまでの議会活動に対する評価と意見交換が行われました。



南幌空手少年団

予 算 審 査 特 別 委 員 会

予算審査特別委員会を3月10日、13日、14日に開催し、審議の結果、令和5年度各会計予算案（一般会計・国民健康保険特別会計・病院事業会計・下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）及び関連議案は賛成多数により「可決すべきもの」と決定し、本会議で報告しました。委員会での質疑を要約して掲載します。

総 務 費

委員【ふるさと応援寄付事業】

前年を超えるふるさと応援寄付金をどのように募るのか。

総務課 返礼品として南幌産米の拡大、新たに野菜セツトの追加などを検討している。

委員【地域おこし協力隊設置事業】

3名の地域おこし協力隊員が連携をとった活動はしているのか。

総務課 ふるさと納税・移住・特産品等を担当しており、定期的に情報共有を図っている。

委員【生活路線等交通対策事業】

あいるーとの土日運行、時間の延長などの要望はなかつたか。

まちづくり課 4月に行うアンケートの中で、土日運行、時間の延長などの設問を設ける予定としている。

委員【生活路線等交通対策事業】

あいるーとの定期券などの導入は検討しないのか。

まちづくり課 回数券の対応を現在検討している。

委員【生活路線等交通対策事業】

夕鉄バスで廃止となる南幌から栗山間の交通対策は。

まちづくり課 現在、栗山町と協議を行っている。

委員【知名度向上対策事業】

子ども室内遊戯施設は、プロモーション業務ということで業者に委託するのか。

まちづくり課 中央公園を観光周遊の拠点としてプロモーション活動を行うので、委託業務として取り進める。

委員【交通安全対策推進事業】

今年度の運転免許証自主返納の予算は何人分で計上しているのか。

住民課 令和5年度予算では、100名程度の自主返納を見込んでいる。

委員【学生支援推進事業】

北海道文教大学との取り組みは、どのような事業を計画しているか。

まちづくり課 夏や冬に行う、イングリッシュシュライアル、南幌産米PRなど、各種事業を調整し取り組む。

委員【賑わい創出広場整備事業】

子ども室内遊戯施設の施設指定管理委託料の2100万円は、増額することはあるのか。

まちづくり課 特に電気料が年度明けにも値上げが予定されており、年度協定で指定管理料を定めることに

なり、上がることを想定している。

委員【賑わい創出広場整備事業】

はれっば等でキャベツちくんのデザインを利用できないか。

まちづくり課 賑わい創出広場整備の中で検討する。事業者と相談しながら可能であれば取り入れたい。

委員【北海道日本ハムフア イターズ応援大使事業】

現在、考えている事業や計画は。

まちづくり課 観戦ツアーの実施、球場内の市町村PRブースでの啓発、大型ビジョンを活用した市町村PRを予定している。

委員【防犯対策推進事業】

全国的に問題になっている凶悪犯罪への住民に對する啓蒙活動は。

住民課 栗山警察署と連携を図り、地域安全ニュースや町広報誌への各種防犯の記事掲載、銀行等へのポスター掲示などで注意喚起している。



子ども室内遊戯施設「はれっば」



民生費

委員【民生委員児童委員活動経費】

独居老人の世帯が増えているが、町の支援策は。保健福祉課 民生委員の活動で、安心キットの配置推進や社会福祉協議会と連携による独居高齢者への食事を開催している。

委員【避難行動要支援者避難事業】

避難行動要支援者避難事業とは。

保健福祉課 障がい者手帳を持つている独居の方、要介護3〜5級の独居の認定者、また、難病指定の方が対象で要支援者名簿を作成し、災害発生時に速やかに避難できる体制を定めており、現在対象者は51名いる。

委員【避難行動要支援者避難事業】

民生委員と行政区長を巻き込んで、見守り支援を強化すべきでは。

保健福祉課 地域での自主防災組織が進みつつあるの

で、住民の協力と理解を得ながら進めていく。行政の力では、どうにもならない部分があることを理解していただきたい。



南幌いちい保育園

保健福祉課 確保対策は、保育士等就労支援事業を行い、実績では2名新規採用。令和5年度は保育園、幼稚園で4名の採用予定となっている。

委員【保育所費】

保育所運営補助事業で4200万程度増加している要因は。

保健福祉課 入所人数が増えたこと、保育士処遇改善により施設に支払う給付費の単価が上がったことが増加の要因となっている。

委員【自殺予防対策事業】

相談にいられている方の現状は。

保健福祉課 1回相談して終わる方が多い状況である。

委員【家庭・養育環境実態把握事業】

どのようにならば調査をするのか。実態を把握して今後、どのような支援をするのか。

保健福祉課 令和5年度は

ニーズ調査を行い、令和6年から子ども家庭センターの設置に向けた実態把握を行う。支援については、貧

困世帯、虐待等についての対策や体制整備を行う。

委員【家庭・養育環境実態把握事業】

ヤングケアラーも対象として調査する考えは。

保健福祉課 教育委員会でヤングケアラーの調査を実施しており、情報共有していきたい。

衛生費

委員【乳幼児期防災備蓄品支援事業】

防災リュックの中身の変更及び改善は進められているのか。



防災リュック

保健福祉課 基本、中身は同じものと考えているが、乳幼児のリーフレットを新たにに入れて配布する。

委員【ごみ処理対策費】

ごみ処理対策用備品の内容は。

住民課 美園地区と東町地区のごみステーションを予定していることから、ゴミボックスの新設購入費になる。

委員【母子保健事業】

子育て支援アプリのラッピングコストが増えているが内容は。

保健福祉課 更新されるアプリは個人の特定ができ、質問票の回答やオンライン



での相談も可能となり、今後は乳幼児健診や歯科検診の予約もできるようになる。

農林水産業費

委員【農業振興補助金交付事業】

資材費等の高騰に対する対策は検討しているか。

産業振興課 堆肥の利用、土壌診断による適正な施肥といった取り組みを支援していく考えである。

委員【土地改良事業】

道央圏連絡道路用地買収の状況は。また、工事の進め方を伺いたい。

産業振興課 用地買収は、令和4年度中にすべて終わっており、工事は令和5年から国道本線に支障となる農道や、排水路を国道の本線の外に移設する工事を行う。

委員【地産地消活動推進事業】

直売所、朝市への参加戸数が減少している。支



朝市の様子

援制度を考えていくべきでは。

産業振興課 朝市への参加戸数が増えるよう農協青年部や4日クラブに声を掛けている。

委員【林業振興費】

防風林の整備について、どのような状況か。
産業振興課 町有林の整備は、道の治山事業を活用して、森林組合と調整しながら整備を進めている。

商工費

委員【空き店舗活用支援事業】

この事業を活用して開店した店舗の継続状況は。

産業振興課 平成29年度からの活用で、開店実績は8件、継続が5件、閉店が2件、縮小が1件となっている。

委員【ふるさと物産館】

ふるさと物産館の3階に入居予定の会社の現況は。

産業振興課 本稼働は、4月からを予定。現在準備が進められている。

土木費

委員【町営住宅管理事業】

夕張太団地町営住宅の改修工事の内容は。

都市整備課 給排水管の更新と灯油設備の改修、流し台取替を予定した実施設計を行う。



夕張太団地公営住宅

委員【町営住宅管理事業】 公営住宅では、高齢化や障がい者が多くなっている。除雪が自分でできない場合の対応は。

都市整備課 除雪を行っている団体の情報提供を行っている、業者に委託されている場合は、負担の協力をお願いしている。

委員【町営住宅管理事業】

公営住宅に整備されるホームタンクは、メーター式か。

都市整備課 メーター式ではなく、入居者が自身のホームタンクから使用した分を清算する方式となっている。

委員【町道長寿命化改修事業】

団地内の道路が傷んでいるが、点検等しているのか。

都市整備課 団地内の道路の傷みや老朽化については、把握している。町内全体の道路の更新について検討している。

教育費

委員【青少年健全育成事業】

青少年異世代交流とあるが、町内の中高生と大学生が交流する計画だが、どのような規模で行うのか。

生涯学習課 中学生、高校生が対象の事業で、夏休み中の5日間で実施予定。8人のスタッフで中高生の勉強の補助、フリートークから将来のビジョンなどを勉強する事業としている。

委員【スクールバス】

乗車要件を緩和して乗車範囲の拡大ができないか。

生涯学習課 現状、1日3便となっており、拡大する

と便数に間に合わなくなるため、範囲拡大は現状、考えていない。

介護保険特別会計

委員【食の自立支援事業】

物価の高騰、電気代の高騰などを見込んだ予算なのか。利用者の負担への影響は。

保健福祉課 普通食のみ40円料金の上昇となり、利用者負担はその半額の負担増となる。

委員【食の自立支援事業】

利用者負担の抑制のため、町の負担率を上げる考えはないか。
保健福祉課 今後、物価が高騰し、更に利用者負担が増えるようであれば検討する。

委員【地域支援事業】

快足シャキッと倶楽部の回数を増やす考えは。
保健福祉課 新型コロナ感染症が収束していないことから、現体制で132回を予定している。



快足シャキッと倶楽部

病院事業会計

委員 新型コロナ感染症が5類へ変更後の診療体制は。

町立病院 新型コロナ感染症が5類に変わっても、今のところ発熱外来は、屋外で行う体制を変更する予定はない。

委員 待ち時間が長いとの声があるが、対応は。

町立病院 医師も外来だけでなく、救急要請や入院患者が急変した場合の対応などがある。その際は待ち時



間が長くなる理由を説明してお待ちいただいている。
委員 病院内の防災訓練などは、実施しているのか。
町立病院 年2回、火災を想定した避難訓練を実施している。

歳入

委員【町民税】

本町の町民が他市町村にふるさと納税することによって住民税の減額になっている額は。
税務課 令和4年度589万49円で、前年度より増えている。



私のまち・ひと・しごと



こうた
山口晃汰さん 23歳（北町）

そうた
村上颯太さん 20歳（10区）



南幌町の美しすぎる除雪作業を冬季間、日々頑張っている若者2人を紹介します。

★除雪車運転作業を選んだ理由は？

【村上】家の仕事は農業なので冬の収入源で先輩からの紹介です。今は、トラックの助手だけど12月の誕生日に大型の免許を取得してドライバーを目指します。

【山口】先輩からの誘いです。今は、トラックの助手だけど一人前のドライバーを目指して頑張ります。

★深夜の仕事で大変だと思いが感じたことは？

【村上】除雪作業をやってみて初めて、除雪の有難さを知りました。眠いけど頑張ります！除雪作業へのご理解よろしくお願いたします。



★この先の南幌町の除雪についての想いを聞かせてください！

【山口】将来は僕たちで南幌町の除雪を担ってやるぞ〜とでっけえ夢を持っています。眠いのを我慢して頑張っているの、除雪をしたきれいな道路は安全運転でお願いします。



人材不足と言われる昨今ですが、南幌町のきれいすぎる除排雪作業はしっかりと若い世代に受け継がれているようです。これも丁寧な仕事を見せてくれる先輩皆さんのおかげで、感謝申し上げます。

雪解けも早く農作業も進んでいることと思います。夜中の睡魔との戦いを忘れて農作業を頑張ってください。（内田）

なんぼろ議会だより

令和5年5月1日 第162号

〒069-0292

空知郡南幌町栄町3丁目2番1号

TEL 011-398-7250

発行／南幌町議会

編集／議会広報特別委員会

《西股・内田・石川・加藤・細川》

印刷／山東印刷（株）

編集後記

4月から令和5年度がスタートしました。今年度はいよいよ子ども室内遊戯施設「はれっば」がオープンするとともに、中央公園がリニューアルされ多くの家族連れが足を運ぶことが期待されています。本町が手掛けてきた各種の子育て政策の集大成がこの施設であるだけに、少子化の流れを少しでも緩和し、賑わいのあるまちにするために大きな期待が寄せられています。

また、議会も新しい顔ぶれを加えた新体制がスタートしました。

この3年間コロナ禍で思うような活動が出来なかっただけに、議会は町民の期待に応えられるよう心機一転で頑張っていく予定です。そして議会だよりもよろしくお願いたします。

（石川）